

4. 安全装備の取扱い

シートベルト

シートベルトについて	4-2
シートベルトの着用のしかた	4-4
シートベルトの取扱いとお手入れ	4-5
シートベルトプリテンショナー （前席のみ）	4-6
2ステージロードリミッター付シートベルト （前席のみ）	4-7
お子さま用シートの シートベルトによる固定	4-8
お子さま用シートの選択について	4-10

SRSエアバッグ

SRSエアバッグ車を運転するときは	4-15
SRSエアバッグシステムの取扱い	4-18
SRSエアバッグシステムの作動	4-20
SRSエアバッグ警告灯	4-26
廃棄と廃車	4-26
イベントデータレコーダー(EDR)とは	4-26

ABS

ABS装備車の取扱い	4-27
------------------	------

安全運転が第一

お車に装備されているシートベルト、SRS エアバッグシステム、ABS（アンチロックブレーキシステム）などの安全装備も、乗員の安全確保には限界があります。法定速度を厳守するとともに、スピードを控えめにして安全運転に心がけてください。

4. 安全装備の取扱い／シートベルト

シートベルトについて

正しい姿勢でシートにすわり、正しくシートベルトを着用しないと、シートベルトが本来の効果を発揮できません。シートベルトを着用するときは、次のことに注意してください。

- シートを正しい位置に調節し、上体を起こして奥深くすわります。
- ベルトがねじれないように着用します。
- 腰ベルトは、腰のできるだけ低い位置にかけます。
- 肩ベルトは、首と肩先の中央にかけます。
- ベルトがねじれていないことを確認し、たるみを取り除きます。

→ 3-32ページ（正しい運転姿勢）



70K216

⚠ 警告

- 走行前にシートベルトを正しく着用してください。走行中に着用したり調節したりすると、思わぬ事故を起こすおそれがあります。
- 背もたれを必要以上に倒さないでください。また、洗たくばさみやクリップなどでベルトをたるませないでください。シートベルトが本来の効果を発揮できません。

- 助手席や後席の同乗者全員にシートベルトを着用させてください。

お子さまもシートベルトを着用

→ 2-4ページ

（お子さまを乗せるときは）

⚠ 警告

お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。ベルトを身体に巻きつけるなどして遊んでいるときに、窒息など重大な傷害を受けるおそれがあります。万一の場合は、ハサミでベルトを切断してください。



80J028

妊娠中や疾患のある方は

⚠ 警告

- 妊娠中の方、疾患がある方もシートベルトを着用してください。ただし、衝突のときに局部的に強く圧迫されるおそれがありますので、医師に相談して注意事項を確認してください。
- 妊娠中の方は、腰ベルトを腹部を避けて腰部のできるだけ低い位置にかけます。肩ベルトは、首と肩先の中央から腹部を避けて胸部にかかるように着用してください。



80J075

シートベルト警告ブザー

運転席のシートベルト着用忘れを防止するためのブザーです。

- エンジンをかけて走行を開始してから、最初に車速が約 15 km/h 以上になったときに運転者がシートベルトを着用していないと、メーター内のシートベルト警告灯が点灯から点滅に切り替わるとともに、シートベルト警告ブザーが断続的に鳴ります。

→ 3-55ページ

(シートベルト警告灯)

♪アドバイス

- 運転者がベルトを着用すると、警告灯は消灯します。また、警告ブザーが鳴っているときは、ブザーも止まります。
- 警告ブザーは運転者がベルトを着用しなくても、約95 秒間鳴り続けたあとに止まります。ただし、警告灯は点滅から点灯に切り替わったまま、エンジンスイッチを **ACC** または **LOCK** (OFF) にするまで消灯しません。

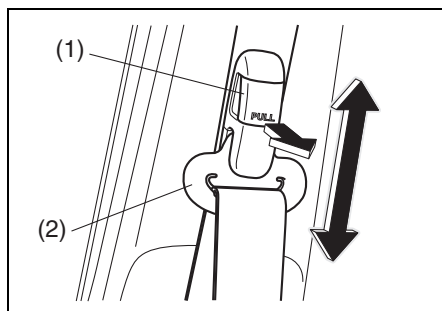
シートベルトの長さ調節

シートベルトは、長さ調節が必要ありません。身体の動きにあわせてベルトが伸縮し、強い衝撃を受けたときは自動的にベルトがロックされて身体を固定します。

肩ベルトの高さ調節 (前席のみ)

身体の大きさにあわせて、ショルダアンカー (2) の高さ調節ができます。

- 上に調節するときは、アンカーをそのまま適切な位置まで持ち上げます。
- 下に調節するときは、ロックレバー (1) を引いたままアンカーを下げ、適切な位置でレバーを離します。
- 調節後は、アンカーを下に引いて固定されているか確認します。



80J1146

4. 安全装備の取扱い／シートベルト

シートベルトの着用のしかた

■ 着用のしかた

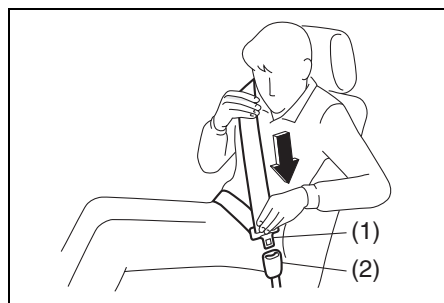
- 1 タングプレート (1) とシートベルトをつかみ、ベルトをゆっくりと引き出します。
ベルトのねじれを取ります。



⚠️ アドバイス

ベルトがロックされていて引き出せないときは、いったんゆるめてから再度引き出します。それでも引き出せない場合は、一度ベルトを強く引いてからゆるめ、再度ゆっくりと引き出してください。

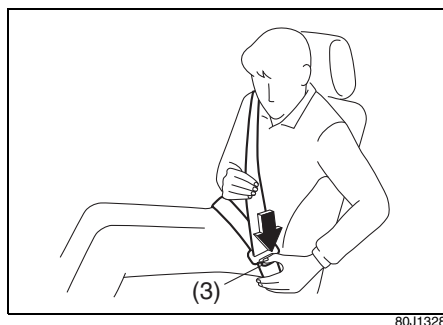
- 2 タングプレート (1) をバックル (2) の差し込み口にまっすぐになるように合わせて、カチッという音がするまでしっかりと差し込みます。



- 3 腰ベルトを、腰のできるだけ低い位置にかけます。
- 4 肩ベルトを、首と肩先の中央にかけます。
- 5 ベルトがねじれていないことを確認し、たるみを取り除きます。

■ 外すときは

バックルのボタン (3) を押します。シートベルトが自動的に巻きもとされますので、ベルトやタングプレートに手を添え、ゆっくりともどしてください。



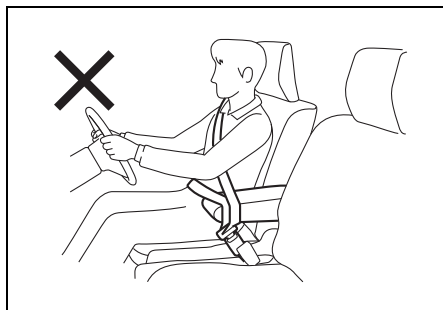
⚠️ アドバイス

ベルトがねじれていると、ベルトを外したときに巻き取られないことがあります。ベルトにたるみがなく巻きもとされていることを確認してください。

シートベルトを正しく着用する

⚠ 警告

- シートベルトにねじれやたるみがあると、衝撃を受けたときに局部的に圧迫されるおそれがあります。
- ベルトが腹部にかかっていると、衝撃を受けたときに強く圧迫されるおそれがあります。
- ベルトが肩にしっかりとかかっていないと、衝撃を受けたときに前に投げ出されるおそれがあります。
- フロントセンターアームレストにベルトがかかっていると、シートベルトが本来の効果を発揮できません。ベルトは、フロントセンターアームレストの下をとおしてください。

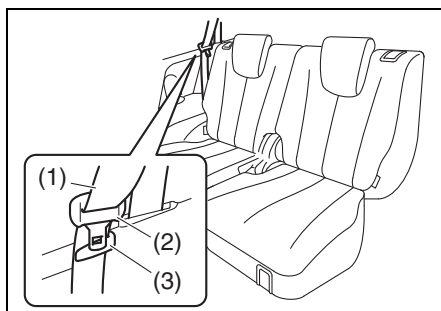


70K40011

シートベルトの 取扱いとお手入れ

取扱い

後席に人を乗せないときは、シートベルト (1) およびタングプレート (2) を次の図のようにベルトガイド (3) にかけてください。



82K40010

⚠ 警告

- シートベルトにほつれや擦り傷、切り傷があるときは、ベルトを交換してください。
- バックルが正常に動かないときは、日産販売会社で点検を受けてください。
- 衝突などでベルトに強い力がかかったときは、外観に異常がなくても、機能が損なわれていることがあります。ベルトを交換してください。
- バックルの内部に異物が入ったり、飲み物をこぼしたりしたときは、シートベルトが正常に機能を発揮しないおそれがありますので、日産販売会社で点検を受けてください。
- ベルトをドアにはさまないでください。ドアを閉める前に、ベルトがたるみなく巻きもどされているか確認してください。
- ベルトを改造したり、取り外したりしないでください。

4. 安全装備の取扱い／シートベルト

お手入れ

お手入れの方法は、布地などと同様です。

→ 6-4ページ（布地、ビニールレザー、樹脂部品などの手入れ）

⚠ 警告

漂白剤、溶剤、染料を使用しないでください。しみ、変色、強度低下の原因となり、シートベルトが正常に機能を発揮しないおそれがあります。

シートベルトプリテンショナー （前席のみ）

シートベルトプリテンショナーとは

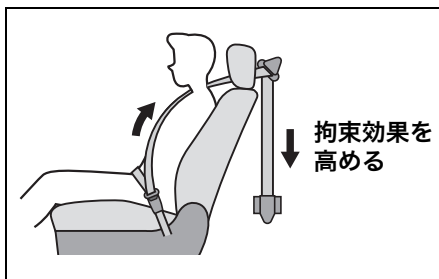
エンジンスイッチが **ON** のときに、次のような状況になると、肩ベルトを瞬時に巻き取ります。

- 車の前方向から強い衝撃を受けたとき。運転席・助手席SRSエアバッグシステムと連動しています。

→ 4-20ページ

（SRSエアバッグシステムの作動）

また、運転席側はラップアウタープリテンショナー機構により、腰ベルトも同時に巻き取ります。



80J1018

⚠ 注意

プリテンショナーが一度でも作動すると、ベルトを引き出すことも巻き取ることもできなくなります。日産販売会社で交換してください。

正常に機能させるために

シートベルトプリテンショナーの機能に影響をあたえる部品に手を加えないでください。シートベルトが思いがけないときに巻き取られたり、必要なときに正常に巻き取られなくなったりすることがあります。

→ 2-28 ページ（部品の取付け、取外し、修理をするときは）

4. 安全装備の取扱い／シートベルト

SRSエアバッグ警告灯



80J111

メーターパネル内にあります。

- シートベルトプリテンショナー、SRSエアバッグの電子制御システムに異常があると、エンジンスイッチが **ON** のときに点灯します。

→ 3-55ページ

(警告灯・表示灯の見かた)

廃棄や廃車

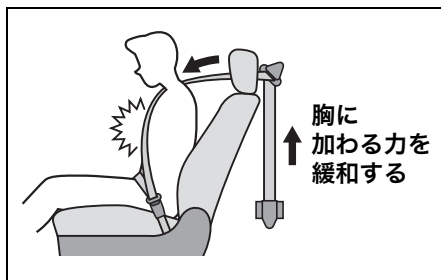
作動していないシートベルトプリテンショナーは、決められた手順で作動させてから廃棄する必要があります。

⚠ 注意

プリテンショナーを廃棄するときや、装備車を廃車するときは、日産販売会社にご相談ください。

2ステージロードリミッター付シートベルト（前席のみ）

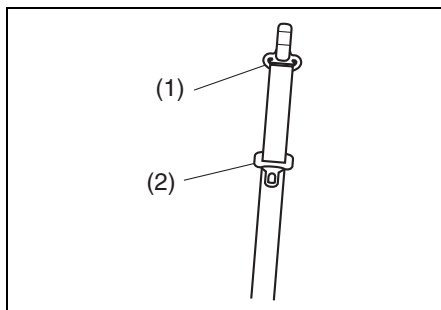
車の前方向から強い衝撃を受けると、シートベルト巻き取り装置内の2ステージロードリミッター付シートベルトが作動し、乗員に一定以上の荷重がかからないように肩ベルトを2段階に繰り出して、衝撃を緩和します。



80J1039

⚠ 警告

強い衝撃を受けたシートベルトは、ショルダーアンカー部 (1) およびタングプレート部 (2) の樹脂が強いままさつで溶けてベルトに付着し、ベルトが滑りにくくなります。このような場合は、シートベルトが本来の機能を発揮できません。日産販売会社で交換してください。



82K179

4. 安全装備の取扱い／シートベルト

お子さま用シートのシートベルトによる固定

- お子さま用シートは、お子さまの年齢や体格に合った適切なものを選んでください。
→ 4-10 ページ（お子さま用シートの選択について）
- ISOFIXタイプのお子さま用シート（別売り）を取り付けるときは、3-42ページの「ISOFIX対応チャイルドシート固定専用金具」をお読みください。

⚠ 警告

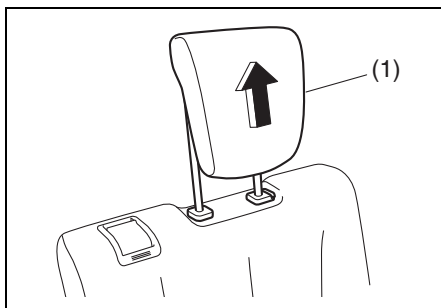
- 助手席には、乳児用チャイルドシートなどの後ろ向きお子さま用シートを取り付けしないでください。助手席SRSエアバッグがふくらむと、お子さま用シートの背面に強い衝撃が加わり、生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。
- やむをえず助手席にチャイルドシートを取り付けるときは、助手席をいちばん後ろに下げ、前向きに取り付けてください。



80J027

固定のしかた

- 1 ヘッドレスト（1）は、お子さま用シートに当たらない高さに調節するか取り外します。
→ 3-37 ページ（ヘッドレストの高さ調節と取外し・取付け）



82K40020

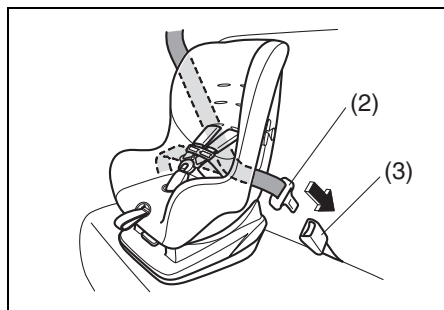
⚠ 警告

ヘッドレストを調節してもお子さま用シートに当たる場合は、ヘッドレストを取り外してください。ヘッドレストに当たった状態ではお子さま用シートが確実に固定されないため、衝突のときなどにお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

- 2 お子さま用シートと背もたれの間にすき間ができないように背もたれの角度を調節します。
- 3 座席が確実に固定されているか確認します。
- 4 お子さま用シートに付属の取扱説明書にしたがって、所定の部位にシートベルトを通します。

4. 安全装備の取扱い／シートベルト

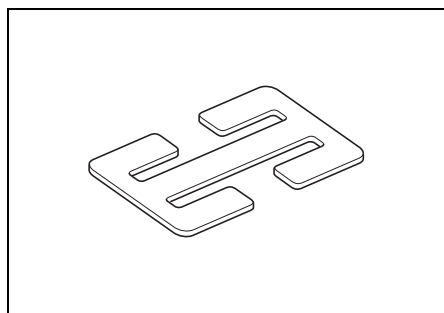
- 5 カチッと音がするまで、タングプレート (2) をバックル (3) にしっかりと差し込みます。



80J1329

- 上図のお子さま用シートは代表例です。

- 6 お子さま用シートにシートベルト固定機構もロッキングクリップもそなっていない場合は、別売りのロッキングクリップを使用してしっかりと固定します。



67H30630

- 上図のロッキングクリップ（別売り）は代表例です。

- 7 お子さま用シートを前後左右にゆすって、確実に固定されているか確認します。

- 確実に固定できない場合は、お子さま用シートに付属の取扱説明書をご確認いただくか、お子さま用シートを購入された販売店にご相談ください。

⚠ 警告

お子さま用シートは、確実に固定してください。急ブレーキをかけたときや衝突時に、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠ 警告

シートベルト固定機構またはロッキングクリップでお子さま用シートを確実に固定しないと、急ブレーキをかけたときや衝突時に、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

4. 安全装備の取扱い／シートベルト

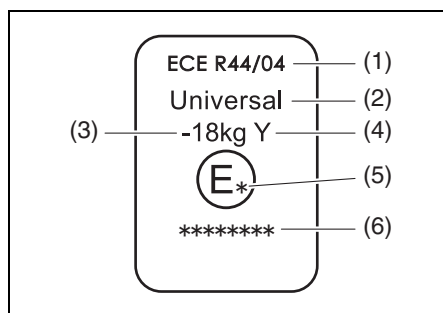
お子さま用シートの選択について

お子さま用シートは、この項目をよく読んだうえで、お子さまの年齢や体格に合った適切なものを選んでください。

- 2-4 ページの「お子さまを乗せるときは」もよくお読みください。
- この車は、2006年10月1日施行の新保安基準に適合したISOFIX対応チャイルドシート固定専用金具（ISOFIXアンカーおよびテザーアンカー）を装備しています。
→ 3-42ページ（ISOFIX対応チャイルドシート固定専用金具）

ECE R44の基準に適合するお子さま用シートの認証マークについて

ECE R44（※1）の基準に適合するお子さま用シートには、次のような認証マークが表示されています。



51K1022

- (1) 法規番号
- (2) お子さま用シートのカテゴリー（※2）
- (3) 対象となるお子さまの体重範囲
- (4) 装置の仕様
- (5) お子さま用シートを認可した国番号
- (6) お子さま用シートの認可番号

- 上図の認証マークは代表例です。

※1 ECE R44 とは、お子さま用シートに関する国際法規です。

※2 前図の「**Universal**」は、汎用カテゴリーの認可であることを表します。

アドバイス

この車の日産純正お子さま用シートは、ECE R44 の基準に適合しています。

ECE R44 の基準に適合するお子さま用シートの、座席位置別適合性一覧表の見かた

→ 4-13ページ（ECE R44の基準に適合するお子さま用シートの、座席位置別適合性一覧表）

■ 質量グループについて

- ECE R44 の基準に適合するお子さま用シートは、次の5種類に分類されます。

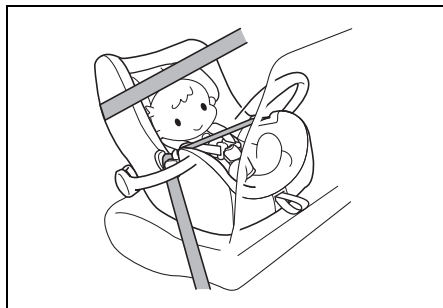
質量グループ	お子さまの体重
グループ0	10kgまで
グループ0+	13kgまで
グループⅠ	9～18kg
グループⅡ	15～25kg
グループⅢ	22～36kg

4. 安全装備の取扱い／シートベルト

- 代表的なお子さま用シートには、次のようなものがあります。

乳児用チャイルドシート

後ろ向き、または横向き装着のお子さま用シートで、首がすわっていないお子さま、ひとりすわりのできないお子さまに使用します。ECE R44 基準のグループ 0、0+に相当します。



64L30810

チャイルドシート

前向き装着のお子さま用シートで、シートベルトが首やあごにかかるときや、腰骨にかからないようなお子さまに使用します。ECE R44 基準のグループ I に相当します。



64L30820

ジュニアチャイルドシート

前向き装着のお子さま用シートで、シートベルトが首やあごにかかるときや、腰骨にかからないようなお子さまに使用します。ECE R44 基準のグループ II、III に相当します。



64L30830

4. 安全装備の取扱い／シートベルト

■ ISOFIXタイプのお子さま用シートの、サイズ等級について

サイズ等級は、お子さま用シートに表示される分類記号です。次の一覧表をご覧ください。

サイズ等級		説明
A	ISO/F3	全高前向き幼児用チャイルドシート
B	ISO/F2	低型前向き幼児用チャイルドシート
B1	ISO/F2X	低型前向き幼児用チャイルドシート (ISO/F2とは別形状)
C	ISO/R3	大型後向き幼児用チャイルドシート
D	ISO/R2	小型後向き幼児用チャイルドシート
E	ISO/R1	後向き乳児用チャイルドシート
F	ISO/L1	左向き位置用チャイルドシート（キャリコット※）
G	ISO/L2	右向き位置用チャイルドシート（キャリコット※）

※キャリコットとは、お子さまを寝かせた姿勢で横向きに取り付けることができる乳児用チャイルドシートの一つです。

詳しくは、お子さま用シートの製造元または販売店にご相談ください。

ECE R44の基準に適合するお子さま用シートの、座席位置別適合性一覧表

■ シートベルトによる固定

質量グループ	着席位置	
	助手席	後席
グループ0 (10kgまで)	X	U
グループ0+ (13kgまで)	X	U
グループⅠ (9～18kg)	UF	U
グループⅡ (15～25kg)	X	UF
グループⅢ (22～36kg)	X	UF

<上表に記入する文字の説明>

- U : この質量グループでの使用を許可された汎用（ユニバーサル）カテゴリのお子さま用シートに適しています。
- UF : この質量グループでの使用を許可された汎用（ユニバーサル）カテゴリの前向きお子さま用シートに適しています。
- X : お子さま用シートの取付けには適していません。

- シートベルトを使用してお子さま用シートを取り付けるときは、**4-8 ページの「お子さま用シートのシートベルトによる固定」**をお読みください。
- ISOFIXタイプのお子さま用シートの種類によっては、上表の質量グループでの使用に適していても、取り付けができない場合があります。詳しくは、次ページの「**ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用金具による固定**」をお読みください。

📌 アドバイス

- 表に記載されていないお子さま用シートを使用する場合は、お子さま用シートの製造元または販売店にご相談ください。
- 取り付けるときは、お子さま用シートに付属の取扱説明書をあわせてお読みください。

4. 安全装備の取扱い／シートベルト

■ ISOFIX対応チャイルドシート固定専用金具による固定

質量グループ	サイズ等級		チャイルドシート固定専用金具の位置	
			助手席	後席
キャリコット	F	ISO/L1	N.A.	X
	G	ISO/L2	N.A.	X
グループ0（10kgまで）	E	ISO/R1	N.A.	X
グループ0+（13kgまで）	E	ISO/R1	N.A.	X
	D	ISO/R2	N.A.	X
	C	ISO/R3	N.A.	X
グループⅠ（9～18kg）	D	ISO/R2	N.A.	X
	C	ISO/R3	N.A.	X
	B	ISO/F2	N.A.	IUF 注)
	B1	ISO/F2X	N.A.	IUF 注)
	A	ISO/F3	N.A.	IUF 注)
グループⅡ（15～25kg）			N.A.	X
グループⅢ（22～36kg）			N.A.	X

<上表に記入する文字の説明>

IUF：この質量グループでの使用を許可された汎用（ユニバーサル）カテゴリーのISOFIX対応前向きお子さま用シートに適しています。

X：ISOFIX対応お子さま用シートの取付けには適していません。

N.A.：この位置にはチャイルドシート固定専用金具が装備されていないため、ISOFIXタイプのお子さま用シートを取り付けることはできません。

注) お子さま用シートを取り付ける座席のヘッドレストを取り外します。

→ **3-37ページ（ヘッドレストの高さ調節と取外し・取付け）**

- チャイルドシート固定専用金具を使用してお子さま用シートを取り付けるときは、**3-42ページ**の「ISOFIX対応チャイルドシート固定専用金具」をお読みください。

🔧アドバイス

- 表に記載されていないお子さま用シートを使用する場合は、お子さま用シートの製造元または販売店にご相談ください。
- 取り付けるときは、お子さま用シートに付属の取扱説明書をあわせてお読みください。

4. 安全装備の取扱い／SRSエアバッグ

SRSエアバッグ車を 運転するときは

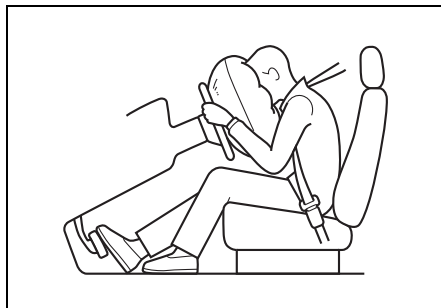
SRSエアバッグシステムとは

SRSとはSupplemental Restraint System（サプリメンタル レストレイント システム）の略で、補助拘束装置の意味です。

■ 運転席・助手席 SRS エアバッグシステム

エンジンスイッチが **ON** の場合に、車の前方向から強い衝撃を受け、シートベルトを着用していてもハンドルや助手席側インパネに顔面が当たるような強い衝突のときに、運転席・助手席 SRS エアバッグが瞬時にふくらむ構造になっています。

- 運転席・助手席 SRS エアバッグシステムは、ふくらんだ SRS エアバッグがクッションの役割をして、顔面への衝撃を軽減する効果があります。



- シートベルトは必ず着用してください。
→ 4-4ページ
(シートベルトの着用のしかた)

■ SRSサイドエアバッグシステム

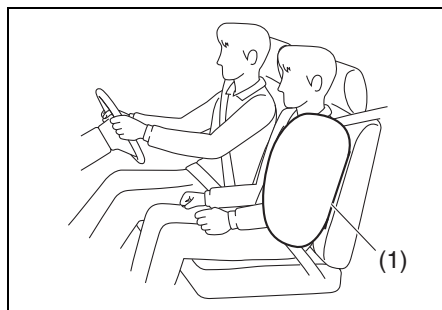
タイプ別装備

エンジンスイッチが **ON** の場合に、車の側面（前席乗員付近）に横方向から強い衝撃を受けて、ドアと前席乗員の胸部などが衝突するようなときに、衝撃を受けた側（運転席側または助手席側）の SRS サイドエアバッグが瞬時にふくらむ構造となっています。

- SRS サイドエアバッグシステムは、ふくらんだ SRS サイドエアバッグがクッションの役割をして、シートベルトを着用した前席乗員の主に胸部にかかる衝撃を軽減する効果があります。シートベルトは必ず着用してください。

→ 4-4ページ

(シートベルトの着用のしかた)



(1) SRSサイドエアバッグ

- 上図は、助手席側が作動したときを代表しています。

4. 安全装備の取扱い／SRSエアバッグ

⚠ 警告

- SRS エアバッグシステムは、シートベルトに代わるものではありません。シートベルトと併用することで、その効果を発揮するシートベルトの補助拘束装置です。したがってSRSエアバッグシステムが装備されている車であっても、シートベルトを必ず着用してください。
- シートベルトは正しい姿勢で正しく着用してください。シートベルトを正しく着用しないと、SRS エアバッグの効果が十分発揮できません。



65J106

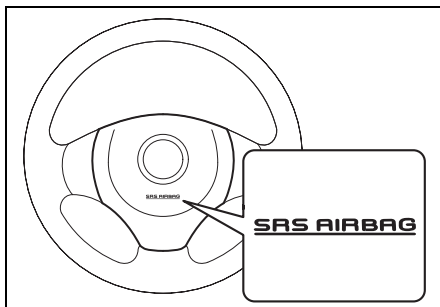
📌 アドバイス

- 助手席 SRS エアバッグは、助手席に乗員がいなくても、運転席 SRS エアバッグと同時にふくらみます。
- SRS サイドエアバッグ装備車の場合、乗員の有無に関係なく、衝撃を受けた側の SRS サイドエアバッグがふくらみます。

表示と収納場所

“SRS AIRBAG” の表示がある部分に収納されています。

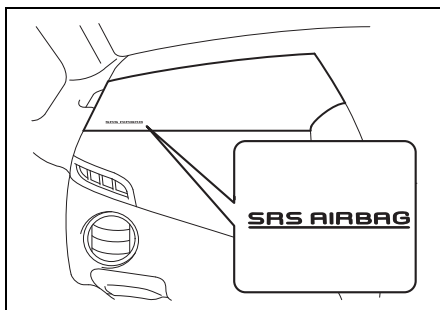
■ 運転席SRSエアバッグ



82K349

- 上図のハンドルのデザインは代表例です。お車のタイプにより異なります。

■ 助手席SRSエアバッグ

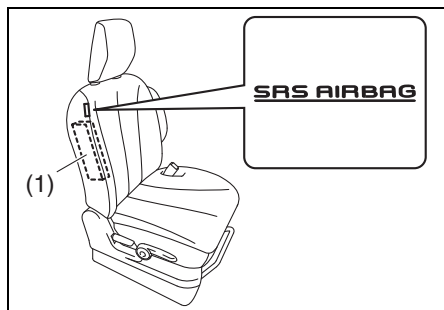


82K350

■ SRSサイドエアバッグ

タイプ別装備

前席背もたれのドア側に収納されています。前席シートには、図（運転席側を代表）のようなタグがついています。



82K40040

(1) SRSサイドエアバッグ

⚠ 警告

- エアバッグの収納部分に傷がついていたり、ひび割れがあったりするときは、日産販売会社で交換してください。エアバッグが正常に作動しないおそれがあります。
- エアバッグの収納場所を強打したり、衝撃を加えたりしないでください。また、前席ドアを窓ガラスが割れるほど強く閉めないでください。エアバッグが正常に作動しなくなったり誤ってふくらんだりして、思わぬ傷害を受けるおそれがあります。

着座姿勢

運転者および助手席の同乗者は、シートに奥深くすわり、背もたれに背中を軽くつけてください。また、シートを前方に出し過ぎないようにシートの位置を調節してください。

とくに助手席の同乗者は、後席の同乗者のさまたげにならない位置までシートを後方に移動し、助手席SRSエアバッグからできるだけ離れてすわってください。

→ 3-32ページ（正しい運転姿勢）



82K183

4. 安全装備の取扱い／SRSエアバッグ

⚠ 警告

SRS サイドエアバッグ（タイプ別装備）が作動したときの強い衝撃で、重大な傷害を受けるおそれがあります。前席に乗るときは、窓から手を出したり、ドアにもたれかかったりしないでください。また、後席に乗るときは、前席の背もたれを抱えないでください。とくにお子さまには注意してください。



80J061



80J062

お子さま用シートの取付け

- 2-6 ページ（お子さま用シートの使用について）
- 4-8 ページ（お子さま用シートのシートベルトによる固定）
- 4-10ページ（お子さま用シートの選択について）

SRSエアバッグシステムの取扱い

SRSエアバッグシステムを正常に機能させるために

SRSエアバッグがふくらむ範囲に物があると、物が飛ばされたりSRSエアバッグが正常にふくらまなくなったりするおそれがあります。

⚠ 警告

- サスペンションを改造しないでください。車高やサスペンションの硬さが変わると、SRS エアバッグの誤作動の原因になります。
- 車両前部にグリルガードなどを装着するときは、日産販売会社にご相談ください。車両前部を改造すると、SRS エアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 無線機などを取り付けるときは、日産販売会社にご相談ください。無線機の電波などがSRSエアバッグのコンピューターに悪影響をあたえるおそれがあります。
- SRS エアバッグが作動しない程度の事故であっても、事故後は日産販売会社で点検を受けてください。システム本来の機能が損なわれていると、万一のときにSRSエアバッグの効果が十分に発揮できないおそれがあります。
- SRS エアバッグは、その機能に影響をあたえる部品に手を加えると、思いがけないときにふくらんだり、必要なときに正常に作動しなくなったりすることがあります。次のような場合は、システムに悪影響をおよぼしますので、事前に日産販売会社にご相談ください。

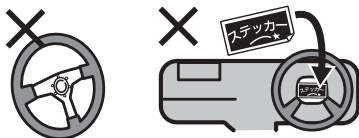
4. 安全装備の取扱い／SRSエアバッグ

- ハンドルの取外し、ハンドルまわりの修理など
- インパネまわり、前席シート下の修理および電気配線の修理
- オーディオ用品などの取付け
- ダッシュボード周辺の板金塗装および修理
- 前席シートの交換およびシートまわりの修理
- センターピラーまわりの修理

■ 運転席 SRS エアバッグについて

⚠ 警告

- ハンドルにもたれかかるなどして、SRS エアバッグ収納部に手や顔、胸などを近づけないでください。SRS エアバッグが作動したときの強い衝撃で、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ハンドルを交換する、ハンドルのパッド部にステッカーを貼る、色をぬる、カバーでおおうなどの改造をしないでください。万一のときにSRS エアバッグが正常にふくらまなくなるおそれがあります。

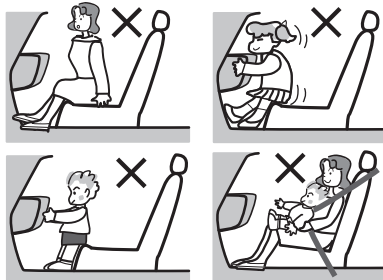


80J094

■ 助手席 SRS エアバッグについて

⚠ 警告

- 助手席に乗車するときや、お子さまを乗せるときは、必ず次のことをお守りください。守らないとSRSエアバッグが作動したときの強い衝撃で、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- インパネのSRSエアバッグ収納部に手足を置いたり、顔や胸などを近づけたりしないでください。
- お子さまをSRSエアバッグ収納部の前に立たせたり、ひざの上に抱いてすわったりしないでください。お子さまは後席に乘せて、シートベルトを着用させてください。



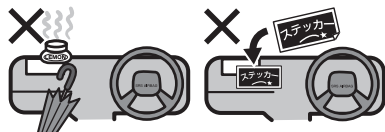
80J095

- シートベルトを正しく着用できないお子さまは、乳児用チャイルドシート、チャイルドシート、ジュニアチャイルドシートに乗せてください。

4. 安全装備の取扱い／SRSエアバッグ

⚠ 警告

- インパネ上面には、ステッカーを貼ったり色をぬったりしないでください。また、アクセサリや芳香剤、ETC車載器やポータブルカーナビなどを取り付けたり置いたり、傘などを立てかけたりしないでください。



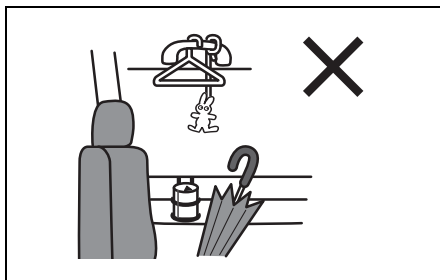
80J096

- フロントガラスやルームミラーにアクセサリ（日産純正用品を除く）などを取り付けしないでください。

■ SRS サイドエアバッグ（タイプ別装備）について

⚠ 警告

- 前席にシートカバーを取り付けるときは、SRS サイドエアバッグ装備車専用の日産純正シートカバーを使用し、付属の取扱説明書をよくお読みください。正しい向きと位置に取り付けしないと、SRS サイドエアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。また、純正の専用品以外の物を使用すると、SRS サイドエアバッグが正常に作動しなくなる原因となります。
- 前席ドア付近にカップホルダーやハンガーなどのアクセサリ用品を取り付けたり、傘などを立てかけたりしないでください。SRS サイドエアバッグが作動したときに、これらの物が飛散したり正常にふくらまなくなったりして、重大な傷害につながるおそれがあります。



80J063

SRSエアバッグシステムの 作動

作動したとき

- エアバッグは、高温のガスで瞬時にふくらみます。事故の発生状況や乗員の姿勢によっては、擦過傷、打撲、やけどなどを負うことがあります。
- ふくらんだエアバッグは、すぐにしぼむ構造になっています。

⚠ 警告

エアバッグが作動したあとは、エアバッグの構成部品に触れないでください。作動直後は構成部品が熱くなり、やけどをするおそれがあります。

⚠ 注意

エアバッグが作動すると大きな音がして白い煙のようなガスが出ますが、火災ではありません。また、人体への影響もありません。

ただし、残留物が目や皮膚などに付着したときは、できるだけ早く水で洗い流してください。皮膚の弱い方などは、まれに皮膚を刺激する場合があります。

4. 安全装備の取扱い／SRSエアバッグ

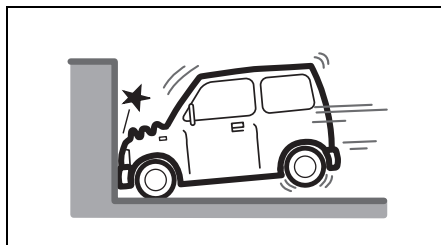
⚠️ アドバイス

エアバッグは再使用できません。
日産販売会社で交換してください。

こんなとき作動します

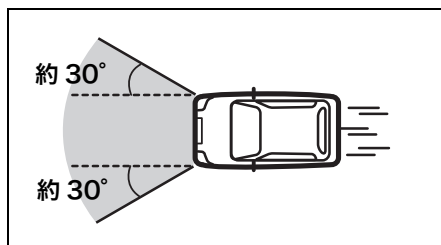
■ 運転席・助手席 SRS エアバッグ

- 衝突しても変形や移動をしない構造物（コンクリートの壁など）に、約 25 km/h以上の速度で正面衝突したとき



80J097

- 車両の前方約30° 以内の方向から、上図と同等の強い衝撃を受けたとき

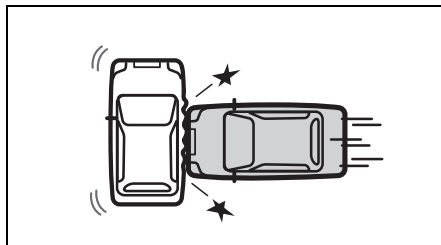


80J098

■ SRSサイドエアバッグ

タイプ別装備

自車と同等の車が約25 km/h以上の速度で横方向から客室部に衝突したとき、またはそれと同等以上の衝撃を受けたとき



80J119

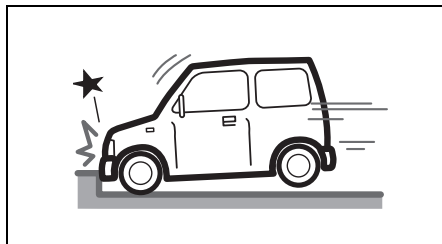
4. 安全装備の取扱い／SRSエアバッグ

こんなとき作動することがあります

■ 運転席・助手席 SRS エアバッグ

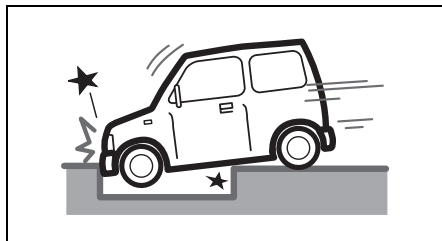
車体下部に強い衝撃を受けると、多くの場合作動します。

- 縁石や中央分離帯などに衝突したとき



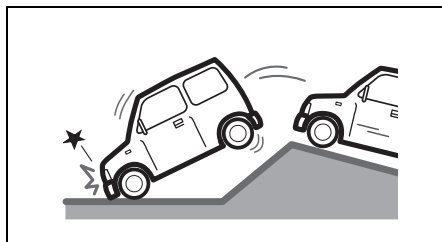
80J099

- 深い穴や溝などに落ちたとき



80J100

- ジャンプして地面にぶつかったり、道路から落下したとき



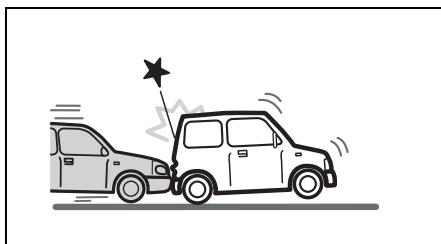
80J101

こんなとき、衝撃が強いと作動する場合もあります

■ 運転席・助手席 SRS エアバッグ

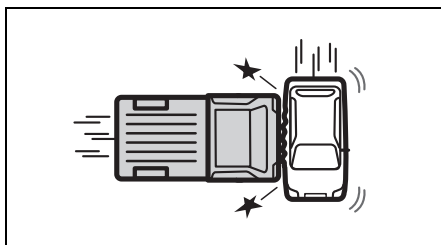
後方、横方向からの衝突、横転などでは基本的に作動しませんが、衝撃が強いとまれに作動する場合があります。

- 後方からの衝突



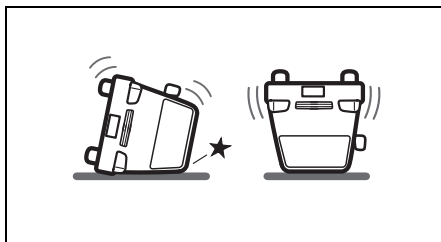
80J120

- 横方向から衝突されたとき



80J109

- 横転や転覆をしたとき



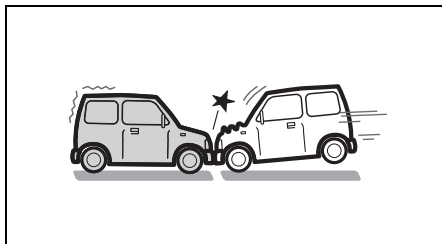
80J110

4. 安全装備の取扱い／SRSエアバッグ

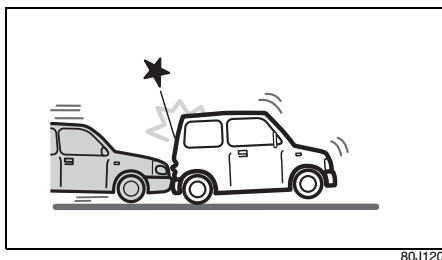
■ SRSサイドエアバッグ

タイプ別装備

- 前方からの衝突



- 後方からの衝突

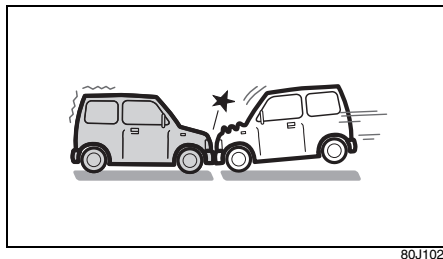


こんなとき作動しないことがあります

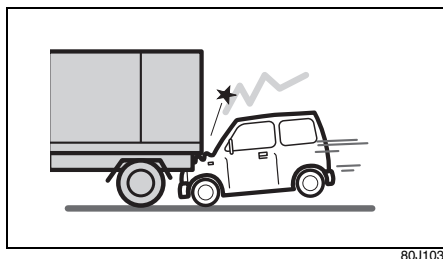
■ 運転席・助手席 SRS エアバッグ

衝突の相手が移動したり、車体が大きく変形したりして衝撃が吸収されたときや、衝突の角度が前方約 30° を超えるとき、多くの場合は作動しません。

- 停車している同程度の重さの車に、50 km/h程度、もしくはそれ以下の速度で正面から衝突したとき

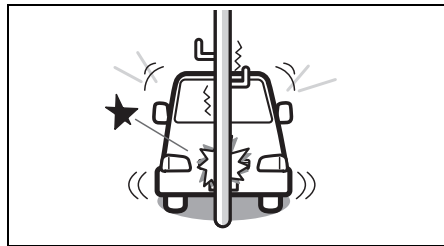


- トラックの荷台の下などへもぐり込んだとき

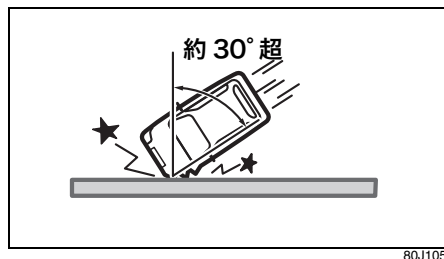


4. 安全装備の取扱い／SRSエアバッグ

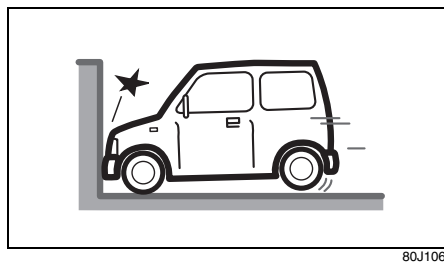
- 電柱や立木などに衝突したとき



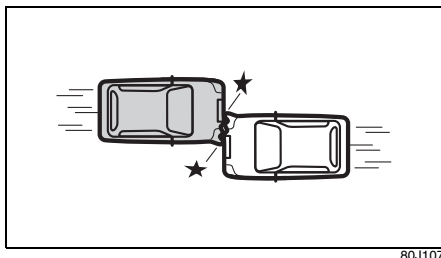
- 前方約30° を超える角度で、コンクリートの壁やガードレールなどに衝突したとき



- 衝突時に変形、移動しないコンクリートのような固い壁に正面衝突したときであっても衝突速度が約25 km/h以下のとき



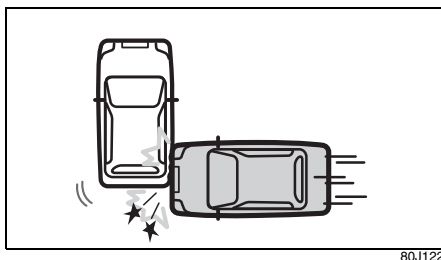
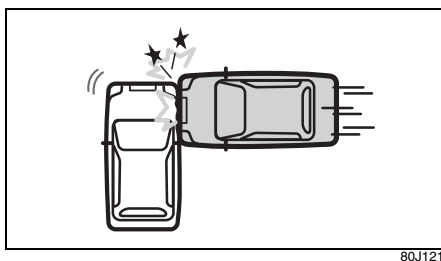
- 衝突の方向が車両の中心からずれたとき（オフセット衝突）



■ SRSサイドエアバッグ

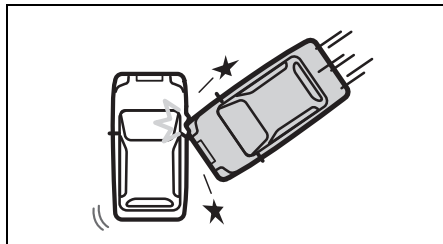
タイプ別装備

- 客室部以外（エンジンルームや荷室部）に側面から衝突されたとき



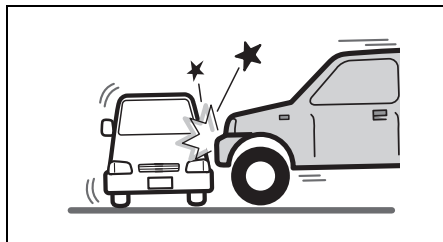
4. 安全装備の取扱い／SRSエアバッグ

- 側面の斜め方向から衝突されたとき



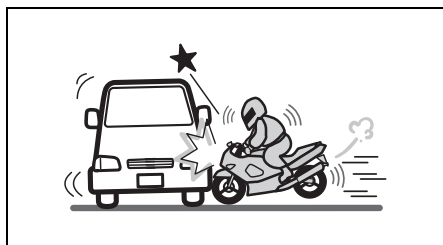
80J123

- 車高の高い車に側面から衝突されたとき



80J124

- 二輪車に側面から衝突されたとき



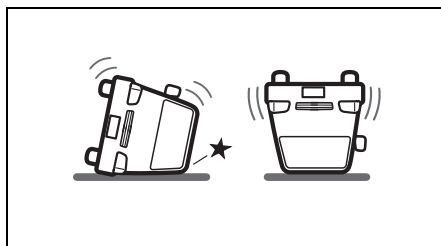
80J125

- 電柱、立ち木などに衝突したとき



80J126

- 横転または転覆したとき



80J110

4. 安全装備の取扱い／SRSエアバッグ

SRSエアバッグ警告灯



80J111

メーターパネル内にあります。

- SRS エアバッグ、シートベルトプリテンショナーの電子制御システムに異常があると、エンジンスイッチが **ON** のときに点灯します。

→ 3-55ページ

(警告灯・表示灯の見かた)

廃棄と廃車

作動していないエアバッグを廃棄するときは、決められた手順で作動させてから廃棄する必要があります。



80J112

⚠ 注意

エアバッグを廃棄するときや、装備車を廃車するとき、日産販売会社にご相談ください。正しく取り扱わないと、エアバッグが思いがけないときにふくらんで、けがをすることがあります。

イベントデータレコーダー (EDR) とは

この車は、SRSエアバッグシステムを制御するためのコンピューターを搭載しています。このコンピューターは、SRSエアバッグシステムが正常に作動しているかどうかを常に診断するとともに、エアバッグが作動するような事故のときに、衝突時点やその前後の車両データを記録するイベントデータレコーダー (EDR) システムを備えています。

EDRに記録するデータ

- SRS エアバッグシステムの故障診断情報
- SRSエアバッグ作動に関する情報

📌 アドバイス

- お車のタイプなどにより、記録されるデータは異なります。
- EDRは、一般的なデータレコーダーとは異なり、会話などの音声や映像は記録しません。

EDRデータの開示について

日産および日産が委託した第三者は、EDRに記録されたデータを、車両衝突安全性能の向上などを目的に取得・利用することがあります。

なお、日産および日産が委託した第三者は、次の場合を除き、取得したデータを第三者へ開示・提供しません。

4. 安全装備の取扱い／SRSエアバッグ

- お車の使用者の同意がある場合
- 法令、裁判所命令その他法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行なうなど、使用者や車両が特定できないように加工したデータを、研究機関などに提供する場合

ABS装備車の取扱い

ABS（アンチロックブレーキシステム）とは

ブレーキをかけたときのタイヤのロックを自動的に防止することで、走行安定性や操舵性を確保しようとする装置です。

⚠ 警告

- 常に周囲の状況を確認して、安全運転に努めてください。ABSによる制御には限界があります。
- ABSは、タイヤのグリップ限界を超えたり、ハイドロプレーニング現象（※）が起こったりした場合は効果を発揮できません。

※雨天の高速走行などで、タイヤと路面の間に水膜が発生し、接地力を失ってしまう現象

制動距離について

ABSは制動距離を短くするものではありません。

⚠ 注意

- 急ブレーキをかけたときや、滑りやすい路面でブレーキをかけたときの制動距離は、ABSがついていない車と同等です。
 - 次のようなときは、ABSのついていない車より制動距離が長くなることがあります。スピードを控えめにして、車間距離を十分にとってください。
 - 凸凹道や石だたみなどの悪路
 - じゃり道、新雪路
 - 道路の継ぎ目などの段差を乗り越えるとき
 - マンホールなど鉄板の上を通過するとき
 - タイヤチェーンの装着時
 - 急ブレーキ時には、ポンピングブレーキ（※）をせずに、ブレーキペダルを思い切り強く踏み込んでください。ポンピングブレーキをすると、制動距離が長くなります。
- ※ブレーキペダルを数回に分けて小刻みに踏むブレーキのかけかた
- 路面の状況によりますが、約10 km/h以下ではABSが作動しません。

4. 安全装備の取扱い／ABS

ABS作動時の振動や音

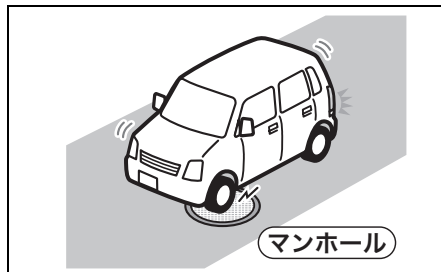
ブレーキペダルを強く踏むと、ブレーキペダル、ハンドル、車体の小刻みな振動を感じることがあります。これはABSの作動によるもので、異常ではありません。ブレーキペダルをそのまま強く踏み続けてください。

🔊アドバイス

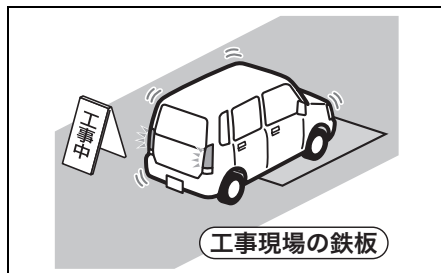
エンジンをかけて発進した直後に、一時的にモーター音などが聞こえることがあります。これはシステムをチェックしている音で、異常ではありません。

ABS は、こんな場合にもブレーキをかけると作動することがあります

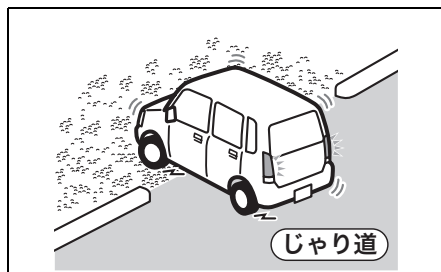
- 滑りやすい路面を走行しているとき



80J1040



80J1041



80J1042

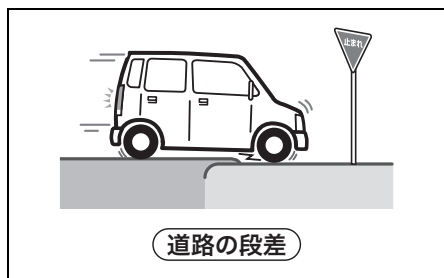
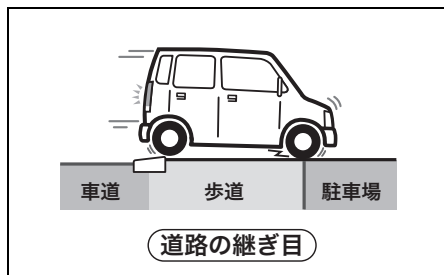
タイヤについて

⚠️警告

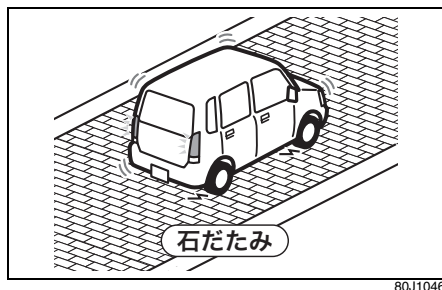
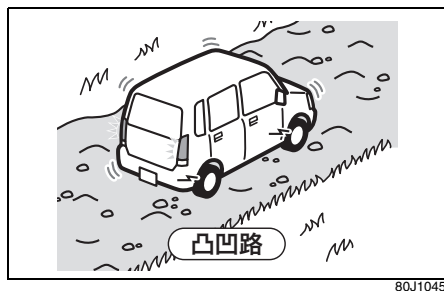
ABSは、各車輪の回転速度をセンサーで検出しています。タイヤ交換時は指定のサイズで、4輪ともサイズ、銘柄、トレッドパターン（溝模様）が同一のものを装着してください。また、著しく摩耗状態の異なるタイヤを使用しないでください。正確な回転速度が検出できなくなってABSが正常に機能しなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

4. 安全装備の取扱い／ABS

- 道路の継ぎ目などの段差を乗り越えるとき



- 悪路を走行しているとき



ABS警告灯



メーターパネル内にあります。

- ABS の電子制御システムに異常があると、エンジンスイッチが **ON** のときに点灯します。

→ 3-56ページ

(警告灯・表示灯の見かた)

[illegible]